

令和2年度 照隅認定こども園 事業報告

近年、少子化、高齢化や都市化、過疎化また核家族化の進展などの人口構造の急激な変動や女性の社会参加の増加などによる社会環境の変化は、子どもの育ちと子育てに様々な影響を及ぼしています。

核家族化の進行により、家族では親から子へと受け継がれてきた子育ての知識などが伝わりにくくなり、つながりが弱くなった地域社会は子育てを支え合ってきた文化を失いつつあります。

子育てに不安を抱く親への支援や児童虐待への対応など、子ども・子育てをめぐる社会的な課題はますます大きくなってきています。特に子育てが孤立する中、若い親に知恵を与えてくれる人が身近にいない結果として、たどりつくプロ集団が認定こども園や保育園であり、その役割は大変重要なものとなっています。また都市部では待機児童問題、地方では子どもの人口減少があり、認定こども園はどちらの場面でも、かつてなかったような役割を担わなければならなくなっています。それに加えて、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止状況に鑑み、行事の延期や中止の決定、手指消毒、検温、マスクの着用、室内・玩具の消毒、ソーシャルディスタンス等園生活も様変わりした一年でした。

当園にとっては、そのような状況を踏まえ、より地域社会の要望に答えていくため、また今まで以上によりよい教育・保育を実践すべく、以下の事業内容を実施しました。

【内容】

	重点実施項目	実行計画	実施結果
地域 貢献 の 視 点	1. 子育て家庭への保育園機能の開放	1. 毎週1回（開放のみ）毎月1回（保育あり）の園庭開放、毎月1回のすくすく子育て教室の実施	1. 毎週の園庭開放はコロナ感染拡大防止の為未実施。 毎月の園庭開放は例年計12回であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為今年度は10月から6回実施し、延べ9名、すくすく子育て教室は延べ1組の利用があった。
	2. 子育て等に関する相談や援助の実施	2. 随時相談を実施。園庭開放、すくすく子育て教室、出前保育時も実施	2. 園庭開放・子育て教室時に実施した。（年間4回）
	3. 子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進	3. 毎週1回（開放のみ）毎月1回（保育あり）の園庭開放、毎月1回のすくすく子育て教室の実施、地域交流のための公共の場における絵本の読み聞かせ会（出前保育）の実施	3. 毎週の園庭開放は新型コロナウイルス感染拡大防止の為未実施。毎月の園庭開放は10月から実施した（年間6回延べ3名）、子育て教室（年間1回延べ2名）、出前保育（梅津北児童館へ年間2回）実施した。
	4. 地域の子育て支援に関する情報の提供	4. 掲示板による、子育て情報の掲示	4. 地域の子育て家庭に対し、実施した。（京都市シェイクアウト訓練・ノロウイルス予防啓発ポスター・児童虐待防止推進月間・自転車保険義務化）
	5. 老人とのふれあいを通じて地域文化の伝承と老人の孤立の防止	5. 地域の老人施設を訪問し、触れ合いあそびや歌などの披露を行い、世代間交流を図る	5. 老人との交流を図るため、例年老健施設マリアンヌを訪問しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為未実施

	重点実施項目	実行計画	実施結果
	6. 園行事の地域への開放による地域の活性化と子育て、子育ての支援	6. 花まつり・七夕会・地藏盆・運動会・もちつき・七草粥・豆まきなど公開行事の実施	6. 花まつり・七夕会・地藏盆・運動会・豆まきは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、未実施。 もちつき・七草粥は案内を掲示したが応募がなかった為、未実施。
利用者の視点	<p>1. 教育・保育内容</p> <p>①教育保育要領・保育指針に基づく保育の計画と評価の実施</p> <p>②小学校へつなげる保育</p> <p>③障害児保育の実施</p> <p>④伝統行事や文化行事を通して人間としての基本的な型と生きる力を身体で覚える「心と身体の教育」の実施</p> <p>⑤子どもと保護者のふれあいを図る行事の実施</p> <p>⑥保護者への保育内容周知</p>	<p>①教務部を中心に、保育の計画に基づく保育の実施 保育要録の作成</p> <p>②体操教室を通した体力づくり、英語教室を通した国際理解教育、ワークなどを通した、音声文化から文字文化への移行を図る。保育要録の作成。坐禅の実施。</p> <p>③巡回相談の活用や関係機関との連携を図り、障害の早期発見と早期対応に努める</p> <p>④花まつり・七夕会・お泊り保育・地藏盆・老人施設訪問・運動会・造形展・成道会坐禅会・もちつき・七草粥・雪あそび・豆まき・涅槃会坐禅会などの実施</p> <p>⑤親子で参加する一日遠足の実施</p> <p>⑥入園のしおり、園だより、クラスだよりの作成・配布ホームページ・まちcomiによる情報提示</p>	<p>①実施した。</p> <p>(1)提出日と内容の確認 個人月案・月案 毎月25日 週案の提出 毎週木曜日 週案の反省 毎週月曜日</p> <p>(2)保育要録は2月末締め切りにし、内容確認をした。5歳児の保育要録17名分は各小学校へ提出した。</p> <p>②実施した。 体操教室毎月1回 英語教室毎月2回 坐禅会 毎月1回 保育要録の作成</p> <p>③障害児3名の保育を実施した。 気になる子の記録を取り、巡回相談を利用し、早期対応に努めた。</p> <p>④花まつり・地藏盆・運動会・造形展・成道会座禅会・もちつき・七草粥・豆まき・涅槃会坐禅会は実施した。七夕会・老人施設訪問・雪遊びは中止。お泊り保育は、宿泊無しでお楽しみ会に変更して実施。</p> <p>⑤コロナウイルス感染拡大防止の為中止</p> <p>⑥実施した。 ・入園のしおりは入園進級式の際に1回説明した。 ・園だより・クラスだよりは毎月1回、年間12回配布した。 ・まちcomi配信は年間59回配信した。</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利用者の視点	⑦保育教諭の加配	⑦障害児加配2名、チーム加配1名配置	⑦実施した。障害児加配は3歳児に1名、4歳児に1名、5歳児に1名の計3名配置。チーム加配は1・2号認定定員53名に対して1名配置した。(4歳児1名は9月で退園)
	⑧虐待児童の早期発見と対応	⑧毎日の視診、長期欠席児の理由確認と市への報告、保健センター等、専門機関との連携	⑧実施した。 ・毎日の視診を実施し、受け入れ時から熱がある子、体調が悪い子への早期対応を実施した。 ・長期欠席児なし ・児童発達支援センターとの連携は、こぐま園見学1回(3歳児通所児童)、電話での連絡2回実施
	⑨保育環境の充実	⑨保育の充実を図るための保育備品購入 保育教材の購入 (絵本・玩具など)	⑨ (1)玩具・絵本などを購入し、充実を図った ・ネオオープンシェルフケース付き ・流し台シェルフケース付き ・ままごと家具 オープン棚 小 ・ビルダースターセット ・ペグパズル ・おたまセット(6本) ・フライ返しセット(6本) ・フォークセット(6本) ・スプーンセット(6本) ・ちゃぶ台(木製) ・砂場セット ・はいはいマット (2)園内・保育環境の充実を図る ・人工芝の敷設 ・事務所のレイアウト変更
2. 健康および安全			
	①食育の促進	①栄養士によるクッキング活動や食育に関する話の月1回以上の計画・実施	①年間276回給食を提供した。 ・4名のアレルギー児にアレルギー除去食を提供した。 ・プランターで野菜作りを体験した。 ・ピザとカレー作りをした。 (5歳児) ・調理員によるパネルシアター(三大栄養素)をした(5歳児対象)

重点実施項目	実行計画	実施結果
<p>②子どもの健康把握と健康増進を図る</p> <p>③各種避難訓練の実施</p> <p>④環境整備と衛生管理の徹底</p> <p>⑤安全指導と不測の事態への対応</p> <p>3. 保護者支援</p> <p>①園と家庭の相互連絡の充実</p> <p>②1号認定の受け入れを図る</p> <p>③低年齢児保育の積極的な実施</p> <p>④働く両親の就労援助</p>	<p>②予防接種・既往症歴の把握と身体測定、内科検診、歯科検診、歯磨き指導、山登り・地域散策、散歩の実施</p> <p>③通常の園独自の訓練に加え、警察や消防、救急と連携した防災訓練や救命救急講習の実施</p> <p>④清掃・設備点検などの実施 整理整頓・清掃、手洗い・消毒の徹底</p> <p>⑤各種マニュアルの見直し（不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応）の見直し、充足を図る</p> <p>①連絡帳の利用、園だより、クラスだより、まち comi メール、ホームページによる情報提示、子どもの送迎時の対応、苦情相談の受付など</p> <p>②4月3歳児1名、4歳児1名の計2名を受け入れる予定ホームページ等を通じて、1号認定を知らない保護者への啓蒙を行う。</p> <p>③受け入れ枠を最大限に広げた0・1歳児の積極的な受入れ</p> <p>④・預かり保育（1号認定）の実施 1号認定 7:00～9:00・15:30～19:00 ・延長保育（2,3号認定）の実施 保育短時間 7:00～8:30・16:30～19:00 標準時間 18:00～19:00</p>	<p>②身体測定（毎月）、内科検診（年1回）、歯科検診（年1回）、山登り・散策（年4回）実施した。 ※内科検診は通常年2回であるがコロナウィルス感染拡大防止の為今年度は1回の実施であった。</p> <p>③火災訓練3回（内1回消防と連携）、地震訓練3回、地震火災訓練2回、水害訓練1回、不審者訓練3回、消火訓練12回、普通救命講習Ⅲを1回実施した。</p> <p>④毎日実施した。 ・コロナ感染拡大防止の為毎日園児の検温を実施した。 ・職員は必ずマスクを着用した。 ・5歳児は1月からマスクを着用。 ・哺乳瓶の殺菌保管庫を購入した。 ・水質空気浄化システムを2台購入した。 ・温涼両用 UV 空気清浄機2台購入</p> <p>⑤災害時の対応では、各クラスに置いている災害用リュックに園児の名簿と緊急連絡先が記入されている用紙を入れるようにした。</p> <p>①園だより、クラスだよりは12回発行した。 まち comi メール、ホームページでの情報提供を59回実施した。</p> <p>②4月より4歳児1名、5歳児1名の計2名を受け入れた。</p> <p>③0歳児定員12名のところ15名、1歳児定員12名のところ18名を受け入れた</p> <p>④預かり保育は延べ186名保育した。 延長保育は延べ3011名保育した。</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利用者の視点	<p>⑤安全で安心な遊び場の提供</p> <p>⑥保育サービスの全体的な質の向上を図る</p> <p>4. 苦情解決</p> <p>①苦情への適切な対応をはかり、利用者の満足感を高める</p> <p>②利用者個人の権利を擁護し、利用者がサービスを適切に利用することができるようにする</p> <p>③苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、信頼と適性性をはかる</p>	<p>⑤園庭遊具・施設設備の管理・点検遊具、設備点検表を作り、毎日・毎月のチェックをする。</p> <p>⑥保育教諭、職員の研修の実施 研修部で研修計画を作り実施</p> <p>①投書箱の設置、連絡帳、口頭、電話等による苦情の受付「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入</p> <p>②苦情解決責任者、苦情解決担当者、第三者委員等の担当者の設置。システム図示、公表。</p> <p>③年度末に1年間に発生した苦情件数等を園だより・ホームページ・掲示板を通じて公表。</p>	<p>⑤毎日の遊具の点検および月2回の設備点検を実施した。</p> <p>⑥講師を招き、社会福祉法人 道心 新人・新任研修会を2日間実施した。 ・2月6日(土) テーマ「社会人としての基本的接遇マナーについて」 講師：キャリア・ラボ 代表 小松 仁美氏</p> <p>・2月27日(土) ○午前の部 テーマ「法人職員として勤務するにあたっての基本的な考え方と実践について」 講師：社会福祉法人道心 各担当講師 ○午後の部 テーマ「社会人の心構えについて」 講師：自彊不息塾 塾長 杉本哲也氏</p> <p>①実施した。 苦情は8件あった。 口頭2件、電話0件、連絡帳・手紙3件、京都市3件、第三者委員0件、その他0件 年間総件数8件</p> <p>②実施した。 掲示板、ホームページ、園だよりで公表した。</p> <p>③「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入(6件あり、内容は別紙の通り)</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
	5. 保幼小連携 ①子供同士の交流を図る ②教職員の交流、情報交換を図る ③地域としての取り組みを図る	①条件が整えば、行事や日常保育での交流 ②条件が整えば、打ち合わせ、保育参観、授業参観、合同研修会などの実施 ③保幼小が参加した連絡会への参加	①②③実施できなかった。 (コロナ感染拡大防止の為)
利用者の視点	1. 園舎内外の不具合部分の修繕 2. 計画的な保育備品購入	1. 毎月と年度末に修繕個所の調査 2. ①絵本・玩具の購入 ②画用紙棚及び乾燥棚の購入 ③楽器の充足	1. 実施した。2階大人トイレの修理・玄関門扉・外階段・自動ドア・火災受信機点検を実施した。 2. 玩具を購入し、充足を図った。 ○絵本は、月間絵本を各クラス分の毎月6冊、年間72冊購入した。 ○玩具は年間11種類購入 ・ネオオープンシェルフケース付き ・流し台シェルフケース付き ・ままごと家具 オープン棚 小 ・ビルダースターセット ・ペグパズル ・おたまセット(6本) ・フライ返しセット(6本) ・フォークセット(6本) ・スプーンセット(6本) ・ちゃぶ台(木製) ・砂場セット ・はいはいマット
財務の視点	3. 施設設備強化	3. ①災害備蓄品(発電機・非常食)	3. ①発電機に代えて ランタンの購入 10個 ②非常食の購入 ・ほほえみらくらくキューブ 48袋 ・災害食・安心缶 豚汁 6缶 ・安心米わかめご飯 100袋 ・アキモトのパンの缶詰 3缶 ・保存水 20 ・ライスクッキー 96箱 ・マジックライス青菜ご飯 100袋 ・米粉クッキー 100袋

	重点実施項目	実行計画	実施結果
財務 の 視 点	4. 経費削減対策	4. コピー・水道・電気などの節約に取り組む。	4. コピー使用台帳を使用 9 し、モノクロで印刷する等職員全員で節約意識をもって取り組んだ結果、コピー・コピー用紙代が令和元年度に比べて令和 2 年度には約 30%削減できた。
	5. 財務諸表による経営状態の把握	5. 専門家の指導を受け、財務分析を受ける	5. ゆびすい会計センターによる財務分析を受け経営状況が良好であった。
	6. 職員の処遇改善	6. 園および市の基準に基づき、処遇改善手当の支給	6. 年度末の処遇改善 I は常勤 17 人中 17 人。非常勤 18 人中 10 人実施した。キャリアアップ該当者の処遇改善 II は常勤 17 人中 16 人。非常勤 18 人中 1 人実施した。
	1. 業務改善取組の構築	1. ①各部・各係のマニュアルの見直し、PDCAの作成と更なる深化 ②園務分掌の検討	1. 実施した。各分掌のマニュアルを作り、昨年とは異なる PDCA を作成し日々の保育に活用しやすく、次の人へ引継ぎしやすくした。
	2. 危機管理マニュアルの見直しと点検	2. 各種マニュアルの見直し（不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応）の見直し、充足を図る	2. 各種マニュアルの見直しを図り、必要に応じ修正を行った。 ・不審者対応…警察に来てもらい、不審者と対峙するのではなく、侵入されないようにし、警察へ連絡する。と指導を受け、見直しをした。 ・写真付きのアレルギー児一覧を作成した。 ・洪水に関する避難確保計画を作成した。
	3. PC 管理の確立	3. 個人情報の管理の徹底 各クラスへの PC・USB メモリー配布およびセキュリティ対策	3. 個人情報データはパスワード設定し、各種ファイルは、フォルダリングし、定期的にバックアップを行い、管理を徹底した。
	4. 各部計画の見直しと点検	4. 研修計画・防災避難訓練計画・食育計画・保健計画・安全計画・プール指導計画の見直し	4. 各クラス反省を記入し、その後全ての職員が反省を閲覧するように徹底した。
	1. 離職防止策を図る	1. 様々な勤務形態を考慮した働きやすい職場づくり	1. 月単位変形労働制の勤務時間に基づき、土曜日の過剰な出勤を抑えた。また、シフト作成時に土曜日出勤の付加が必要な時には、指定休暇を与え、調整した。 緊急事態宣言発出中の学校の休校に伴い、子育て中の職員に対しコロナ特休を与えた。

	重点実施項目	実施計画	実施結果
業務プロセスの視点	<p>2. 職員の資質向上を図る</p> <p>3. 園内研修の充実</p> <p>4. 人材の確保を図る</p>	<p>2. 分掌、各自の課題に即した研修（キャリアアップ研修含む）の設定および積極的参加</p> <p>3. 専門の講師の研修（接遇研修・普通救命講習Ⅲなど）を受ける</p> <p>4. 人材派遣会社を利用することのない、積極的な就職フェアの参加やハローワークでの求人、養成校への求人票の送付などを実施</p>	<p>2. 実施した。 キャリアアップ受講者 合計3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育・保育…1名 ・乳児保育…1名 ・障害児保育…1名 ・食育・アレルギー対応…1名 ・保健衛生安全対策…1名 <p>その他の研修31回参加</p> <p>3. 接遇・社会人の心構えについて講師を招き、研修会を2日間実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月6日（土） テーマ「社会人としての基本的接遇マナーについて」 講師：キャリア・ラボ 代表 小松 仁美氏 ・2月27日（土） ○午前の部 テーマ「法人職員として勤務するにあたっての基本的な考え方と実践について」 講師：社会福祉法人道心 各担当講師 ○午後の部 テーマ「社会人の心構えについて」 講師：自彊不息塾 塾長 杉本哲也氏 <p>4. ハローワークの求人票内容の加筆やハローワーク主催の登録者への求人票配布などの機能の活用を行い、積極的に求人活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日（土）「第3回京都認定こども園就職フェア—2019in みやこめっせ」新卒一人採用した。 ・6月21日（日）「ほいく広場就職・転職フェア」採用なし。 ・6月28日（日）「第1回保育園就職フェア 2020inKYOTO」新卒一人採用した。 ・8月30日（日）「京都認定こども園就職フェア」採用なし。 ・9月8日（火）「京都市保育園連盟第2回保育園就職説明会」採用なし ・10月4日（日）「第2回保育園就職フェア 2020inKYOTO」採用なし。

	重点実施項目	実行計画	実施結果
人材育成の視点	5. 職務内容に応じた給与システムの検討	5. 職能等級規程による人事考課の実施	5. 人事考課を実施し、適正な評価を行った。(3回)